

福井県ふるさと文学館報

第10号

いあごせい

館長 三崎 泰弘

ふるさと文学館は平成二七年に開館し、九周年を迎えました。これまで県内外から多くの方にご来館いただきました。厚くお礼申し上げます。

当館では今年度も、三回の企画展を開催しました。春の「新収蔵品展2023」では、初公開となる深田久弥の日記を中心に展示しました。夏の企画展では、絵本作家の堀内誠一を取り上げた「堀内誠一 子どもの世界」を開催しました。秋は、福井で中学校時代を過ごされた歌人の俵万智氏を取り上げ、「俵万智展 # たったひとつの「いいね」『サラダ記念日』から「未来のサイズ」まで」を開催しました。

イベントとしましては、会期中の一一月に、俵万智氏に十五年ぶりに福井にお越しいただき、トークイベントを開催しました。また、文学フェスタでは、宮下奈都氏と谷崎由依氏のトークイベントなどを行い、同人誌ブースも大変なごわいとなりました。他にも、講演会や文学講座、ワークショップのほか、今年九期目となる「ふくい文学ゼミ」、創作講座や文章講座、学校に講師が出向く出前文芸創作教室などを行い、文学の魅力を紹介しました。今後とも皆様幅広く文学に親しむ機会を提供してまいります。引き続き、ご支援ご協力いただきますようお願い申し上げます。

企画展

新収蔵品展2023

会期 四月二日(土)～六月四日(日)

本展では、『日本百名山』で知られる深田久弥の日記六冊を初公開しました。深田は旧制福井中学を卒業後、第一高等学校に進学しました。この日記は、一高生だった一九二三年から二五年に書かれたもので、関東大震災の様子や、芥川龍之介や中野重治らとの交流、登山の楽しみ、文学青年の悩みなど、青春の日々が綴られています。深田の日記の他、中野や皆吉爽雨といった福井中学の卒業生の資料など、新たに収蔵したゆかりの資料を中心に紹介しました。



堀内誠一 子どもの世界

会期 七月八日(土)～九月一八日(月・祝)

夏季企画展として、絵本作家・堀内誠一を紹介する展覧会を開催しました。堀内誠一は一九五〇年代後半にデビューし、『ぐるんぱのようちえん』や「たろう」シリーズをはじめ子どもたちが生き生きと活躍する物語を描く一方、体のことや身近な自然について分かりやすく伝える科学絵本も手掛けました。

展覧会では、『たろうのばけつ』『マザー・グースのうた』『ど

うくつをたんけんする」など百点を越える絵本原画・挿絵を展示したほか、旅先で出会った子どもたちを堀内が撮影した写真や現地の様子を描いた細密な地図なども展示。その多彩な創作世界をご紹介します。

俵万智展 #たつたひとつの「いいね」

『サラダ記念日』から『未来のサイズ』まで

会期 一〇月二七日(金)～令和六年二月四日(日)

現代日本を代表する歌人の一人である俵万智氏が、二〇二二年、短歌界最高の賞といわれる追空賞を受賞しました。本展は、受賞を記念して、角川武蔵野ミュージアムで開催された俵万智展を再構築した展覧会です。

俵氏のデビュー作『サラダ記念日』からコロナ禍などの社会詠を盛り込んだ歌集『未来のサイズ』まで、約四〇年にわたる歌業の中から約三〇〇首を厳選し展示空間を演出しました。

また、俵氏は、中学高



校時代を福井で過ごした福井ゆかりの歌人でもあります。大学時代に、福井の家族に宛てた手紙や、福井について綴ったエッセイなどの資料を紹介しました。

展覧会のタイトルは、俵氏が二〇二〇年七月六日に行ったSNSの投稿に由来します。SNSで「いいね」の数を競い合うのではなく、たつたひとつの「いいね」のためにつくることを問いかけたつぶやきは、二〇万以上の「いいね」を集め、共感を呼びました。俵氏の短歌の言葉を借りた創作コーナーでは、SNSへの投稿をよびかけ、観覧者から多くの短歌が寄せられました。

特集展示

◆プロローグゾーン

出会い、別れ、旅立ちの季節 — 福井の春を描いた文学 —

期間 三月一七日(金)～六月二日(水)

高橋治の小説『さまよう霧の恋歌』や宮下奈都氏のエッセイ『神さまたちの遊ぶ庭』など、福井を舞台に新たな出会いや旅立ちを描いた文学作品を紹介しました。



没後五年 加古里子特集展「ものをつくる」

期間 四月一五日(土)～六月二日(水)

越前市出身の絵本作家・加古里子の作品の中から『だむのおじさんたち』や『てづくりおもしろおもちゃ』などものづくりに関する絵本を取り上げ、複製原画と共に紹介しました。

三館連携 夏休み特集展示「福井のこわい話」

期間 六月三日(金)～八月三日(水)

薄井ゆうじ氏の『北陸幻夢譚』や雀野日名子氏『あちん』など、福井が舞台の「こわい話」や、福井ゆかりの作家による「こわい話」を紹介しました。あわせて福井在住のイラストレーターであるマツト・マイヤー氏の作品も展示しました。また、本展は文書館企画展「マツト・マイヤーさんのイラストで読む越前奇談怪談集」および図書館の「妖怪」特集と連携して行いました。



吉田正俊没後三〇年特集展示

期間 八月二五日(金)～一〇月二日(日)

福井市出身の歌人、吉田正俊の没後三〇年にあわせ、追空賞を受賞した歌集『朝の霧』などの書籍や自筆資料を紹介しました。

北陸新幹線福井・敦賀開業記念 三館連携特集 福井の旅と文学

期間 令和六年二月六日(火)～五月二日(水)

山本周五郎の『虚空遍歴』や吉村昭の『雪の花』、司馬遼太郎の「街道をゆく」シリーズなど、福井を舞台にした様々な旅の文学を紹介しました。図書館、文書館と連携して開催しました。

ようこそ文学館へ ～二〇二三年、ふるさと文学館に来館された作家たち～

期間 令和六年二月六日(火)～四月七日(日)

二〇二三年に来館された作家・文化人のうち、今村翔吾氏や俵万智氏ら一〇人の色紙や写真、著作などを紹介し、ふるさと文学館の一年を振り返りました。

特集展示 「祝 荒川洋治氏 大岡信賞受賞」

期間 令和六年二月三日(金)祝～五月二日(水)

第五回大岡信賞を、坂井市出身で、現代詩作家の荒川洋治氏が受賞されました。これを記念し、受賞作『真珠』や色紙とともに、荒川氏のこれまでの数々の受賞作を紹介しました。



〈タイムリリースポット〉

祝・谷崎由依氏 京都市芸術新人賞受賞

期間 三月一七日(金)～六月二日(水)

二〇二三年一月に谷崎由依氏が京都市芸術新人賞を受賞しました。これを記念して『遠の眠りの』などの著作や自筆色紙、写真などを紹介しました。

追悼 平岩弓枝さん

期間 六月二三日(金)～八月三日(水)

平岩弓枝氏は二〇一四年に、当館プレイベントでご講演いただき、母の出身地であり、疎開も経験した福井への愛着について語っていただきました。本展では六月に逝去した平岩氏を追悼し、福井の思い出について綴ったエッセイや、福井が登場する『女の河』などの著作を紹介しました。



おしどり文学館協定 福井県 荒川区合同特集展示 津村節子と吉村昭く歌人・俳人を描いてく

期間 九月二九日(金)～二月二〇日(水)

おしどり文学館協定の締結日である一月五日にあわせ、津村節子・吉村昭夫妻の短歌や俳句に関連する著作を展示しました。また、親しい編集者を交えて始めた、句会「石の会」について紹介しました。

『源氏物語』と作家たち

期間 令和六年二月六日(火)～四月七日(日)

紫式部は越前国司に任ぜられた父・藤原為時にともない、現在の越前市を訪れ、約一年半過ごしました。NHK大河ドラマ「光る君へ」放送にあわせ、紫式部の『源氏物語』を現代語訳した与謝野晶子や谷崎潤一郎、瀬戸内寂聴らの作品を紹介しました。

◆ギャラリー文学の小路

新美南吉記念館 新美南吉パネル展

期間 四月二九日(土)～五月一四日(日)

児童文学者・新美南吉の生誕一一〇年、没後八〇年にちなみ、新美南吉記念館よりパネルをお借りして、その生涯や代表作を紹介しました。

群馬県立土屋文明記念文学館

移動展「歌人土屋文明」パネル展

期間 八月二五日(金)～一〇月二五日(水)

土屋文明は、「アララギ」を代表する歌人の一人で、福井ゆかりの歌人・吉田正俊も師事しました。土屋文明の生涯と作品の魅力や、パネルで紹介しました。

文学の小路を作品発表の場にどうぞ！

展示室周囲のスペース「ギャラリー文学の小路」では、文学に関する作品（詩、短歌、俳句など）を展示しています。学校の授業や部活動・県内文学関係グループの文学に関する作品発表の場としてご活用ください。

第二四回 万葉の里短歌「あなたを想う恋のうた」 入賞作品展

期間 三月三日(木)～四月一六日(日)

万葉の里・恋のうた募集実行委員会が主催し、万葉集ゆかりの地・味真野にちなんだ短歌コンクールの入賞作品展を展示しました。

福井県小中学生写生画コンクール

期間 七月二日(金)～七月二五日(火)

中日新聞社・日刊県民福井が主催し、小中学生が制作した写生画の力作を展示しました。

「家族ふれあい」絵手紙コンクール入賞作品展

期間 一〇月二日(木)～一〇月二四日(火)

福井市教育委員会が主催し、「家族のふれあい」をテーマに小中高生が制作した絵手紙の入賞作品展を展示しました。

教育普及

文学フェスタ

一月、県内で文芸創作を行う方々が作品を発表したり、作り手や読者が交流したりする場として、文学のお祭り「文学フェスタ」を開催しました。図書館エントランスホールには、文学同人や大学の文芸部など二三団体がブースを開設し、同人誌の配布・

販売や活動紹介を行いました。昨年から始めた二つの試みは、今年も盛況となりました。気になるブースを回ってシールを集めたら文学館で文豪おみくじガチャができる「同人誌スタンプラリー」は、子どもたちに人気で同人の先輩方とのほほえましい交流が見られました。「同人誌グループセッション」では、一般の方も足を止めて、各グループのみなさんの文学に込めた思いが伝わるプレゼンに耳を傾けていました。

また、宮下奈都氏×谷崎由依氏トークイベント「福井で生まれ育つこと、小説を書いていくということ」では、おふたりの初共演が実現。福井での思い出、子育てのこと、小説がどのように生まれるかなど、大いに語り合い、参加のみなさんは女子トークに引き込まれていました。

佐藤実紀代氏の「創作を志す人のための本づくりワークショップ」では、「私の本を作ろう」というかわいらしいテキストに沿って本の各部の名称、本の装幀、同人誌や著作権についての基本的な事柄を学び、それぞれの本づくりに夢中になっていました。

文学館前では、福井の文学出版物を展示したほか、カフェあすわの木では、開催中の俵万智展にちなんだ特別メニューを楽しんでいただきました。賑やかな文学フェスタが戻ってきた暖かな一日になりました。



作家講演会

堀内誠一展に関連し、七月に堀内誠一のご長女である堀内花子氏のトークイベント「父と絵のこと 子どもたちへのまなざし」を開催しました。聞き手を務めていただいたのは、堀内展キュレーターのエリザベツ氏。父親の思い出や創作のこだわりについて語っていただきました。

また、次女である堀内紅子氏を講師に、ワークショップ「飾ってかわいい くるくる回るモビール作り」を開催しました。絵本『ぐるんぱのようちえん』などの絵柄を切り出してモビールを作りました。

一〇月には、読書の秋にあわせ、荒川洋治氏に『世界の名作』の輝き」と題して、世界文学の魅力や読書の楽しさについて語っていただきました。一月には俵万智展にあわせて、俵氏のトークイベントを行いました。聞き手は、敦賀市ご出身で、角川文化振興財団の宮下俊氏が務めて下さいました。俵万智氏は、福井での思い出や創作の秘密、発売されたばかりの歌集について、語って下さいました。

三月には、第二七回風花随筆文学賞授賞式の記念対談として、



川上弘美氏に「小説と随筆の間」と題してお話しいただきました。聞き手は、元岩波書店社長の山口昭男氏に務めていただき、創作活動についてご講演いただきました。



オーサートーク作家による出前授業

宮島未奈氏をお招きし、「二月に仁愛女子高校、福井南高校（リポート中継）にて「オーサートーク作家による出前授業」を開催しました。ベストセラーとなった『成瀬は天下を取りに行く』のストーリーや登場人物のこと、普段の執筆スタイルのことなどをざっくばらんに話されました。

そして小説家を目指す高校生に向けて、怖がらずコンテस्टにどんどん応募し、落選してもめげず次々と書き続けることが大切だとアドバイスを送り、参加者たちは熱心に耳を傾けていました。

ジュニア文学カフェ

今年も小説創作に関心がある高校生へ向けたジュニア文学カフェの開催を予定していましたが、開催日当日の荒天により、県内高校文芸部で講義映像をご覧いただきました。新潮社編集者の中村睦氏は講義で、小説を書く時は自分のために書くことや新たな発見を楽しむ心が大切であること、発想の飛躍が面白さを生むことなどを、実例を交え分かりやすく語って下さいました。

創作講座

一般の方向けの創作講座として、文章講座を三回、創作教室を一回開催しました。文章講座は風花随筆文学賞実行委員会との共催で、三好修一郎氏、増永迪男氏、中村睦氏を講師に迎え開催しました。中村氏は、面白いエッセイは具体的な事実をもとにして、いることを強調され、普段から物事をよく観察し疑問をもつ訓練



を重ねることが重要と話されました。また鈴江俊郎氏の脚本創作教室では、脚本を執筆・上演し、本格的な演劇ワークショップを行いました。

文学講座

新収蔵品展2023にあわせ、深田久弥のご長男である深田森太郎氏の講座を開催し、深田久弥のエピソードや、福井とのつながりについてお話しいただきました。



ふくい文学ゼミ

新潮社の編集者であった上田恭弘氏を講師に迎え、九期目となる作家養成講座「ふくい文学ゼミ」を開講しました。

このゼミは、一年間を通したプログラムで、一〇名が受講しました。小説執筆の心構えや登場人物の設定、ストーリーの作り方などを学びました。講師からの丁寧な講評や、仲間との合評を通して、作品を生み出すための実践力を学びました。これまでの受講生は、文学賞を受賞されるなど活躍されています。

出前文芸創作教室

文学館を飛び出し学校に向いて創作の技術やノウハウを教える出前教室を今年も開催しました。五月と六月に啓新高校、五月に藤島高校で脚本講座（当館職員・藤井）、七月に坂井中学校で詩の講座（福井県詩人懇話会）と春江中学校で俳句講座（西村圭子氏）、十一月に勝山中部中学校で詩の講座（今村秀



子氏）、一二月に藤島高校で随筆講座（増永迪男氏）をそれぞれ開催しました。

今村秀子氏は「ばあばの詩っ」と題した講義で「詩を作る時には「しーっ」と静かに耳を澄ませ、心を澄ませることがとても大切だ」と説明。創作ではクラスメイトが考えた言葉を組み合わせでできた詩をアレンジし、一人ひとりの個性が表れた詩が次々と生まれました。

資料寄贈のお願い

当館では、福井の文学に関する資料を収集・保存し、次の世代に継承するとともに展示・研究などで活用してまいります。福井ゆかりの作家や作品に関する資料（自筆原稿、書簡、書画、挿絵、愛用品、写真、映像等）がございましたら、文学館まで寄贈くださいますようお願いいたします。

【寄贈受贈】

令和五年度に寄贈いただいた方を紹介します。

旭英幸氏、石寒太氏、津村節子氏、西出淳一氏（五十音順）

トピックス

「ふる文ナビゲーター」がスマホでも聞ける！

荒川洋治氏が高見順のエピソードを語るなど、現役作家がゆかり作家を解説する音声ガイド。お手持ちのスマートフォンで聞くことができるようになりました。ぜひ、お気軽に作家の生の声をお聞きください。企画展開催時には、展示解説を耳にしながらか楽しみください。

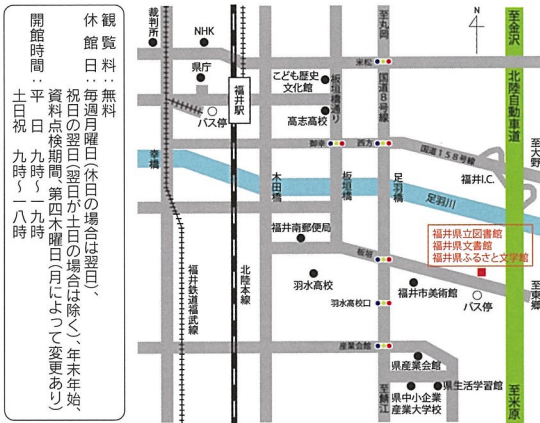
令和5年度に開催したイベント

期日	イベント名	場所	期日	イベント名	場所
4/30(日)	キッズ文学キネマ「ごんぎつね」「たろうのとむだち」	研修室	10/8(日)	講演会(荒川洋治氏)	多目的ホール
5/5(金・祝)	キッズ文学キネマ「手ぶくろを買いに」「きょうはなんてうんがいいいんだろう」	研修室	10/21(土)	第3回文章講座(中村陸氏)	多目的ホール
5/20(土)	出前文芸創作教室(脚本:藤井織江)	私立啓新高校	10/29(日)	第3回ふくい文学ゼミ	研修室
5/28(日)	出前文芸創作教室(脚本:藤井織江)	福井県立藤島高校	11/5(日)	トークイベント(俄万智氏、宮下俊氏)	多目的ホール
6/2(金)	ジュニア文学カフェ(中村陸氏※収録)※高校文芸部連携	各校で視聴	11/10(金)	出前文芸創作教室(詩:今村秀子氏)	勝山市勝山中部中学校
6/3(土)	文学講座(深田森太郎氏)	多目的ホール	11/12(日)	文学フェスタ「トークイベント」(宮下奈都氏、谷崎由依氏)	多目的ホール
6/21(水)	出前文芸創作教室(脚本:藤井織江)	私立啓新高校	※	文学フェスタ「ワークショップ」(佐藤美紀代氏)	研修室
7/1(土)	第1回ふくい文学ゼミ	研修室	12/12(火)	オーサートーク(宮島未奈氏)	私立仁愛女子高校 私立福井南高校(リモート)
7/15(土)	第1回文章講座(三好修一郎氏)	研修室	12/13(水)	出前文芸創作教室(随筆:増永迪男氏)	福井県立藤島高校
7/19(水)	出前文芸創作教室(詩:福井県詩人懇話会)	坂井市坂井中学校	12/16(土)	文学講座(鈴江俊郎氏)※荒天のため中止(収録)	多目的ホール
7/25(火)	出前文芸創作教室(俳句:西村圭子氏)	坂井市春江中学校	12/17(日)	創作教室(鈴江俊郎氏)	研修室
7/28(金)	モバイルワークショップ(堀内紅子氏)	研修室	1/13(土)	現代文学キネマ「あん」	多目的ホール
7/29(土)	トークイベント(堀内花子氏、林綾野氏)	多目的ホール	1/20(土)	第4回ふくい文学ゼミ	研修室
8/5(土)	夏休み文学キネマ「豆富小僧」	研修室	2/17(土)	第5回ふくい文学ゼミ	研修室
8/20(日)	子ども室×文学館コラボ「科学絵本ワークショップ」	映像ルーム	3/3(日)	第27回風花随筆文学賞授賞式	多目的ホール
8/27(日)	第2回ふくい文学ゼミ	研修室	※	記念対談(川上弘美氏、山口昭男氏)	多目的ホール
9/9(土)	第2回文章講座(増永迪男氏)	研修室			

編集後記

今年度も大型企画展や、様々なテーマを取り上げた特集展示、講演会や創作講座などを開催いたしました。二〇二四年一月には、地震に見舞われましたが、資料などには大きな被害はなく開館し、多くの方にご来館いただきました。

今後も魅力的な文学に親しむことができる企画展やイベントを、皆様にご提供させていただきます。



ふるさと文学館へはフレンドリーバス(無料)が便利です。
福井駅東口バスターミナルから30分間隔で運行(約15分)

福井県ふるさと文学館報 第10号

発刊日 令和 6年3月31日
創刊日 平成27年3月31日

発行所 福井県ふるさと文学館
福井市下馬町51-11(福井県立図書館内)
TEL:0776-33-8866
FAX:0776-33-8861
<http://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/> (55030)

